

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科に、糖尿病黄斑浮腫で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科における糖尿病黄斑浮腫の長期治療成績

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科 学内助教 吉田 太理

3. 研究の目的

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科における糖尿病黄斑浮腫の長期治療成績について比較検討する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

糖尿病黄斑浮腫の患者さんで、平成30年4月1日から令和3年3月31日までの期間中に、抗VEGF治療またはテノン嚢下ステロイド注射を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、視力、年齢、性別、HbA1c、DM罹病期間、白内障手術の有無、網膜光凝固術の有無、中心窩網膜厚、合併症、投与回数、最終投与間隔に関する情報です。

(3) 方法

糖尿病黄斑浮腫に対して、抗VEGF療法、あるいはステロイドテノン嚢下注射を開始・施行した症例をカルテから抽出する。術前後の視力、年齢、性別、HbA1c、DM罹病期間、白内障手術の有無、網膜光凝固術の有無、中心窩網膜厚、合併症、投与回数、最終投与間隔について、治療開始後24ヶ月までについて比較検討する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

ありません。

8. 問い合わせ先

和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院眼科 担当医師 吉田 太理

TEL : 0736-22-0066 E-mail : tairi-y@wakayama-med. ac. jp